

学術データの自動集約による研究者プロファイリング

～気になる研究者の成果を徹底検索！～

桂井 麻里衣 (同志社大学)

ACT-1



Science of Science ～科学研究の可視化と問題発見～

- ・あの研究の専門家は誰？
- ・この分野では今どんな技術が注目されているの？
- ・この大学 / 研究所にはどんな特色があるの？

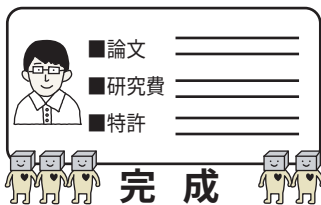
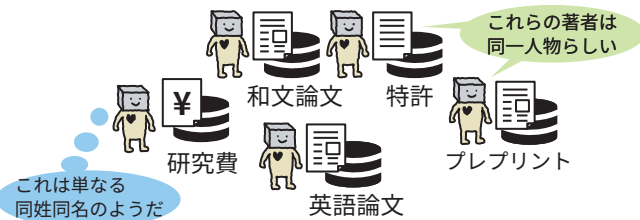
▶ 学術ビッグデータから自動で解析したい！ 🔍

しかし、研究者の氏名でウェブ検索すると、同姓同名研究者の成果が混ざってしまう...

- ・特定個人の研究成果一覧を効率的に整備するには？ → 成果①へ
- ・研究者と成果が正確に紐づくと、実際に可視化に役立つか？ → 成果②へ

成果①

異なる種類の学術データベースにおける著者 ID マッチング手法を開発！



- ★ 研究者の業績管理にかかる労力を削減
- ★ 学術ビッグデータ解析基盤の確立へ

成果②

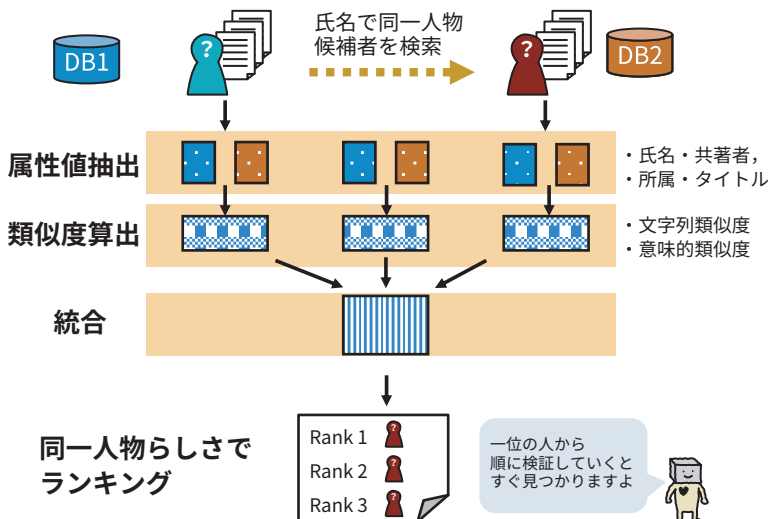
関連研究者を日本地図から自由に探せるシステムを開発！



- ★ 共同研究機会の創出
- ★ 若い世代の進路選択支援

↑の詳細

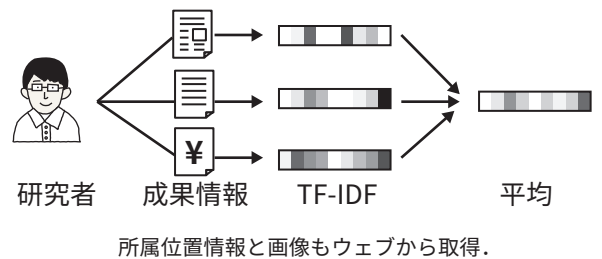
教師なしランク集約問題として設計。



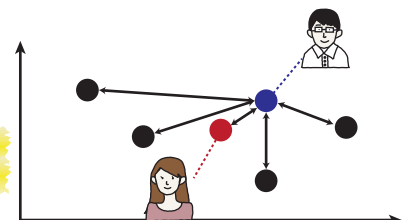
関連成果：JC DL2019

↑の詳細

個人の研究成果集合に基づきテキスト特徴ベクトルを算出。



総当りでベクトル間類似度算出



関連成果：DEIM2020